

ARSC NEWS

The Newsletter of the Applied Regional Science Conference

応用地域学会ニュースレター（日本語版）, No.66, February 2008

ARSC 事務局：〒162-0485 東京都新宿区市ヶ谷本村町 2-9

（財）計量計画研究所

応用地域学会事務局 文部省学会コード=10023

会長：小林潔司 担当：宮本成雄

TEL: (03)3268-9692

FAX: (03)3268-9919

E-mail: clerk@arsc.org

主要項目： 第 21 回研究発表大会報告
2007 年度坂下賞
2008・2009 年度 運営委員会委員の選挙について
第 22 回研究発表大会のご案内
会員の入退会について
2008 年度会費納入のお願い
総会報告
事務局だより

1. 第 21 回研究発表大会報告

大会委員長：小池淳司（鳥取大学）

2007 年 12 月 8 日（土）、9 日（日）の 2 日間にわたって、鳥取県民文化会館において第 21 回研究発表大会が開催されました。最終的には 49 件のエントリーがあり、招待講演と合わせて 50 件の論文発表がありました。

第 21 回研究発表大会は、3 つの会場と 18 のセッションに分かれておこなわれました。その内訳は一般セッション 13、Early Bird セッション 3、企画セッション 2 です。今回は企画セッションの内容が実務を反映した内容であるため、あえて、シンクタンクセッションを開催しませんでした。Early Bird セッションは第一日目の午前中に開催しました。発表の中では、特に、交通行動と都市集積をあつかう理論的・実証的研究の発表が数多くありました。

第 1 日目の総会開催前に坂下賞受賞記念講演がありました。2006 年度選考委員会委員長である金本良嗣東京大学教授による進行のもとで、城所准教授による講演がありました。論題は“交通プロジェクトの費用便益分析—現状と課題—”でした。坂下賞受賞記念講演に続いて、同じ会

場で 2007 年度の総会が開催されました。総会では、事業報告・会計報告などとともに、2007 年度坂下賞の発表がありました。今回の受賞者は佐藤泰裕名古屋大学准教授です。選考委員会委員長である佐々木公明東北大学教授から、佐藤氏の研究は、特に労働市場と都市集積に関する理論分析で都市経済学・地域経済学の新たな展開に寄与したことが評価されたとのご紹介がありました。

第 21 回大会の参加者は鳥取県内 11 名、県外 143 名、外国人 3 名、計 157 名でした。そのうち非会員参加が 10 名でした。また、懇親会の参加者は約 70 名でした。懇親会では、小林潔司会長（京都大学）の開会あいさつ、山田茂学科長（鳥取大学工学部社会開発システム工学科）からの歓迎のあいさつに続いて、井原健雄 北九州市立大学教授に乾杯の音頭をとって頂きました。中締めは川嶋辰彦 学習院大学教授にお願いしました。また、次回開催地である釧路公立大学の内藤徹准教授からも歓迎する旨のごあいさつをいただきました。

最後になりましたが、ご協力いただきました大会実行委員会とプログラム委員会の方々、座長・討論者の方々に、あらためてお礼申し上げます。また、発表者の一部の方々には日程などのご希望に添えないこともありましたことをお詫び申し上げます。

2. 2007 年度坂下賞 (Sakashita Prize)

2007 年度坂下賞選考委員会 委員長 佐々木公明(東北大学)

2007 年度の坂下賞については、選考委員会の慎重なる議論を経、以下のように佐藤泰裕氏（名古屋大学）に決定しました。

受賞者；佐藤泰裕（さとう やすひろ） 名古屋大学環境学研究科准教授

受賞理由；

佐藤氏の貢献は理論的独創性とその緻密な論理性にある。氏の研究テーマは労働経済学から派生しているが、job-search, mismatch, training cost を介して都市の設定の中で空間構造と労働市場のパフォーマンス間の相互依存関係を解明することによって、都市経済学あるいは地域経済学の新しい分野を開拓することに貢献している。2001年のJUE論文では、都市に人口が集中することは必ずしも集積の利益を引き起こさない。その一つの理由は労働市場における mismatch に起因し、実質的な賃金（生産性）は必ずしも上昇しないことである。集積の利益が働くためには job search skill が収穫逓増の場合であることを示した。また2004年JUE論文では都市における労働市場と土地市場の一般均衡モデルで都市交通システムの改善が job match を増加させ、失業を軽減することを示した。また2000年のEL論文ではHarris-Todaroモデルの示唆とは逆に生産性（賃金率）が高い地域ほど失業率が低いことを示した。また、2006年Economics Bulletin論文や2007年JUE論文では地域間人口移動について、賃金、失業率などの労働市場の変数に加え、出生率や死亡率などの人口学的要因も考慮して、現実的モデルを構築し、人口移動がスキル形成に与える影響を明らかにしている。

さらに、スキルミスマッチや賃金の硬直性といった労働市場の不完全性が存在する時に、地方政府の課税や公共財供給が地域経済にどのような効果を持つか、それらの意思決定が効率的か、という地方財政の課題について研究を広げ、地域・都市政策立案にも有効な成果を挙げつつある。理論と同時に政策的分析をも重要視する応用地域科学分野で、将来性が非常に豊かな研究者である。

坂下賞表彰式は、12月8日の応用地域学会総会終了後に行われ、佐藤泰裕氏には、小林潔司会長から、表彰状（盾）と金一封が授与され、次年度の研究発表大会において特別講演をしてもらうことなどの報告がありました。

3. 2008・2009年度運営委員選挙について

選挙管理委員 上田孝行（東京大学）
浅田義久（日本大学）

ARSC 会則第8条および内規 I にしたがって、下記の要領で第10期(2008年4月1日から2010年3月31日まで)運営委員の選挙を行います。

内規 I 第3条に従い、選挙管理委員は、会長指名により東京大学の上田孝行会員と日本大学の浅田義久会員が引き続き務めます。

投票は、同封の葉書の郵送により、3名連記の投票をお願いいたします。投票の締め切りは、**2008年3月25日（当日消印有効）**といたします。

（同封の運営委員選挙の案内に従って投票をお願いいたします）

4. 第22回研究発表大会のご案内

2008年度のARSC研究発表大会は、釧路公立大学において小磯修二先生（釧路公立大学地域経済研究センター長・大会実行委員長）、ならびに内藤徹先生（同大学経済学部准教授）が中心になられて、下記要領にて実施されます。奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

日 程：2008年11月15日（土）、16日（日）

（総会、懇親会は11月15日を予定）

会 場：釧路公立大学

〒085-8585 北海道釧路市芦野4丁目1番1号

（大学ホームページ；<http://www.kushiro-pu.ac.jp/>）

発表申込み〆切：2008年8月中旬（予定）

論文提出〆切：2008年10月中旬（予定）

お問合せ：ARSC 事務局

(発表申込先および受付開始時期を含むスケジュール等の詳細については、ARSC NEWS 次号(6月発行予定)に掲載いたします。)

5. 中国大会の開催について

12月の総会で紹介されたARSC中国大会は、日中の地域科学の研究交流を目的とし、2007年度は、北京大学政府管理学院で開催されました。

2007年度の北京大会では、一日目は、日中両学会の代表数名によるキーノートスピーチが行われました。2日目は、3つの会場に別れ、日中それぞれ30本以上の論文発表と討議がなされ、地域学の相互交流に、多いに盛り上がっていました。期間中、ARSCと中国地域学会の幹部による話し合いがもたれ、今後とも日中の地域科学の交流を継続的に進めていくことが確認され、このため、2008年度も北京で共同セミナーを開催すること、日中での地域科学の共同研究の推進、中国の若手地域科学者の育成協力(若手養成集中セミナーの開催など)が合意され、具体的に進めていくことになりました。

2008年度もARSCと中国地域学会との共同セミナーを開催することで進めていきます。2008年度は、北京オリンピックがありますが、その終了後の10月に、北京での開催を予定しています。日程、開催内容等の詳細は確定次第お知らせ致します。

6. 会員の入退会について

2007年度総会(2007年12月8日)において、前回総会以降に入会を申し込まれた以下の方々について、入退会が承認されました(順不同・敬称略)。

入会

一般 10名

倉内慎也(愛媛大学)、嶋本宏征((株)建設技術研究所)、古川章好(中京大学)、島本海賢(水戸工業(株))、平田晋一((財)計量計画研究所)、沓澤隆司(大阪大学)、原野啓((財)日本住宅総合センター)、林田元就((財)電力中央研究所)、遠香尚史(三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株))、坂本智幸((財)日本エネルギー経済研究所)

学生 9名

加藤真紀(東北大学)、黒木悠輔(九州大学)、中島賢太郎(東京大学)、長瀬勇人(法政大学)、齋藤久光(Oregon State University)、野原克仁(東北大学)、中嶋一憲(東北大学)、宣超(岡山大学)、小西俊作(筑波大学)

賛助会員入会(1機関)

中央復建コンサルタンツ株式会社

同時に以下の方々のご退会が承認されました（敬称略）。

退会

本人の申し出によるもの（一般7名、学生2名）

勝俣 陸男（前田建設工業（株））、松川 勇（武蔵大学）、宮澤 俊治（岐阜大学）、西村 隆夫（桜美林大学）、玉寄 通孝（(財)南西地域産業活性化センター）、山内 昭（尾道大学）、山内 敏通（愛媛大学）、高梨 敬子（(有)総合計画研究所）、友利 廣（沖縄大学）

賛助会員任意退会（2機関）

日本政策投資銀行、（株）オリエンタルコンサルタンツ

この結果、2007年12月8日現在の会員数は、個人会員が、一般会員 388名、学生会員 54名、海外会員 8名、賛助会員 13機関（計 18口）となります。

8. 2008年度会費納入のお願い

会員データベースに基づいて発行された請求書を同封しています。ご請求額を3月23日までに応用地域学会の郵便振替口座(00120-1-253855)にお振込み下さい。また、この請求額について疑義のある場合には、学会事務局までお問い合わせ下さい。なお、お振込みの際には、ご面倒でも振替用紙の通信欄に振込金額の明細を必ずご記入下さい。

(1) ARSC 会費

2008年度会費は、一般会費 10,000円、学生会員 5,000円、賛助会員 1口 50,000円です。また、海外会員（日本人の短期滞在者を除く）は、ARSC年報を購読される場合\$80、RURDSのみの場合\$60です。なお、海外からお支払いの場合は、日本国内の知人を経由して日本円でお支払い頂くのが最善ですが、それが不可能であれば、各国の銀行で振り出されたUSドル建ての小切手、または国際郵便為替をご利用下さるようお願いいたします。

(2) RSAI（国際地域学会）会費

RSAIの年会費は、会員に対するサービス内容に対応して以下の通り、A、Bの2種類あります。サービス内容をご確認の上申し込みください。

RSAI会員のサービス等は、Blackwell社を通じて行われています。ジャーナル“Papers in Regional Science”も、Blackwell Synergy上で閲覧できるようオンライン化されています。（Papers in Regional Scienceは、印刷冊子としての購読もできます）

○ジャーナルの印刷物を郵送で受取るサービスを希望の場合（A）

一般会員： ¥7,800

学生会員： ¥3,800

<サービス内容>

- ・ジャーナル (PiRS) の郵送による受け取り
- ・Journal of Regional Science などのブラックウェル社の雑誌の購読料割引と関連出版社の詳細情報の提供
- ・RSAIホームページへのアクセス
- ・ニューズレターの郵送による受け取り
- ・RSAIの会議への参加費割引
- ・メンバーリストへのアクセス

○ジャーナルや情報への電子アクセスのみを希望の場合 (B)

一般会員： ¥1,600

学生会員： ¥1,200

<サービス内容>

- ・PiRSの電子コピー (Eメールによる受け取り)
- ・Journal of Regional Science などのブラックウェル社の雑誌の購読料割引と関連出版社の詳細情報の提供
- ・RSAIホームページへのアクセス
- ・ニューズレターの電子コピー (Eメールによる受け取り)
- ・RSAIの会議への参加費割引
- ・メンバーリストへのアクセス

<会員の入退会・継続、サービス区分の変更の希望>

従来からのRSAI会員の方は、特に退会の申し出のないかぎり会員を継続されると判断します。また、新規に入会を希望される方は、希望するサービス区分を会費払込票の通信欄に記入してください。また、退会、サービス区分の変更等がある場合は、その旨、払込票の通信欄にご記入ください。

(この通信欄の記入をもとにARSC事務局が、RSAI会員サービス提供の手続きを行います。)

<RSAIの会費納入>

希望するサービス内容の金額をARSC会費と合算してお振込みください。払込票通信欄には、送金内訳を記入してください。

9. 総会報告

2007年度の総会は、12月8日(土)、鳥取大会の会場である鳥取県民文化会館において行われました。概要は以下の通りです。

議題等；

1) 学会活動報告及び活動方針

小林潔司会長より、2007年度の活動・方針を中心とした学会の運営方針が示されました。

2) 会員異動報告 (前掲)

3) 2006年度決算 (別掲)

4) 2008年度予算 (別掲)

5) 応用地域学会 2007年度坂下賞

坂下賞選考委員会委員長佐々木公明先生(東北大学)より、2007年度の坂下賞についての選考経緯と受賞者の発表がされました。

(授賞者 前掲、2007年度選考委員 別掲)

6) ジャーナルの編集状況及び今後の方針について

①応用地域学研究

編集委員長中村良平先生(岡山大学)より編集状況の報告と今後の取り組みが報告されました。この1年間での投稿論文は16本であったこと、学会終了後の投稿数は多いがその後の投稿は少なくなる傾向にあること、学会員の査読者選びが制限されるので、学会員外への査読依頼もしていきたい。この場合、謝礼をする。

②RURDS

最近日本の若手の投稿者並びに採択が増えており、一層の若手の活躍・投稿を歓迎すること、また、RURDSの電子ジャーナルへのアクセスが、極めて多くなっていること、特に、3月号の「経済統合」特集で、世界的注目を呼んでいる旨の土井編集委員長からのメッセージが紹介されました。

7) 2008年度研究発表大会の開催について

(前掲)

9. 事務局だより

- **第21回ARSC研究発表大会**は、鳥取大学を主催校として鳥取県民文化会館で開催され、大変な活況を呈しておりました。今大会の陣頭指揮を取られた大会委員長の小池淳司先生の大変なご尽力をはじめ、鳥取大学の皆様、プログラム委員長を勤められた奥村誠先生(東北大学)とプログラム委員の先生方のご苦勞に対し、また様々な側面でご協力いただきました皆様に、深く感謝申し上げます。
- **運営委員改選の選挙**です。2008年度からの2年間のARSCの運営にご尽力をいただきます運営委員の皆様を選ぶ大切な選挙です。年度末を控え、そして新年度への準備と、何かとご多忙の折かと思いますが、お忘れなきようお願い申し上げます。
- 地域科学に関連する分野の研究に興味を持たれている個人、または団体が周囲に居られ

ましたら、是非入会をお勧め頂くようお願い致します。個人会員用の入会申込書は ARSC のホームページ(<http://www.arsc.org/arscform-j.html>)より入手可能です。また、Email によるお申し込みも受け付けておりますので、記入事項を ARSC ホームページにてご確認の上、必要事項を記入して clerk@arsc.org 宛てに Email でお申し込み下さい。

(ARSC 事務局 宮本成雄)

2006年度決算書

応用地域学会2006年度決算書 (2007年3月31日)

収入の部	2006年度予算		2006年度決算	
	円貨	ドル貨	円貨	ドル貨
1.繰越金	9,150,418	0.00	9,150,418	0.00
2.個人会費収入	4,375,000	1,800.00	3,818,945	0.00
3. RSAI会費	245,180	0.00	197,800	0.00
4.賛助会費収入	1,200,000	0.00	900,000	0.00
5.補助金(科学研究費補助)	1,600,000	0.00	1,600,000	0.00
6.大会参加費収入	30,000	0.00	719,000	0.00
(年次大会)			489,000	
(上海大会)			230,000	
7.大会開催寄付金	0	0.00	0	0.00
8.利子収入	0	0.00	3,269	0.00
9.雑誌販売(Back Number)	0	0.00	37,870	0.00
10.その他	0	0.00	0	0.00
収入合計	16,600,598	1,800.00	16,427,302	0.00
(繰越金を除く収入合計)	7,450,180		7,276,884	

支出の部	2006年度予算		2006年度決算	
	円貨	ドル貨	円貨	ドル貨
1.RURDS刊行費	4,720,000	0.00	4,282,752	0.00
(編集印刷経費)	1,600,000	0.00	1,600,000	0.00
(刊行・発送費)	3,120,000	0.00	2,682,752	0.00
2.年報刊行費	1,000,000	0.00	1,019,327	0.00
3.大会開催費	650,000	0.00	1,621,696	0.00
(年次大会)			939,000	
(上海大会)			682,696	
4. RSAIへの送金	245,180	0.00	296,682	0.00
5.坂下賞	121,000	0.00	121,200	0.00
6.名簿印刷費	170,000	0.00	0	0.00
7. ニュースレター等印刷費	200,000	0.00	95,130	0.00
8.一般事務費	310,000	0.00	302,698	0.00
(郵送費)	250,000	0.00	182,140	0.00
(消耗品等)	10,000	0.00	2,398	0.00
(謝金等)	0	0.00	97,460	0.00
(銀行手数料)	50,000	0.00	20,700	0.00
9.事務局費	600,000	0.00	600,000	0.00
10.予備費	50,000	0.00	0	0.00
支出合計	8,066,180	0.00	8,339,485	0.00
繰越金	8,534,418	1,800.00	8,087,817	0.00
ドル貨円換算(手数料を除く)	123,000		0	
繰越金合計	8,657,418		8,087,817	

注:2001年度よりドル口座を廃止。海外会員の会費は、円に換金して円口座に入金。

監査の結果、決算は適正になされていることを認めます。

2007年10月24日 監査委員 河野達仁 (印)

2007年12月6日 監査委員 河藤英二 (印)

2008年度予算書

応用地域学会2008年度予算書

収入の部	2006年度決算		2007年度予算		2008年度予算	
	円貨	ドル貨	円貨	ドル貨	円貨	ドル貨
1.繰越金	9,150,418	0.00	8,087,817	0.00	8,099,817	0.00
2.個人会費収入	3,818,945	0.00	4,400,000	1,800.00	4,600,000	1,800.00
3. RSAI会費	197,800	0.00	270,940	0.00	284,900	0.00
4.賛助会費収入	900,000	0.00	1,200,000	0.00	1,100,000	0.00
5.補助金(科学研究費補助)	1,600,000	0.00	1,800,000	0.00	0	0.00
6.大会参加費収入	719,000	0.00	60,000	0.00	235,000	0.00
(年次大会)	489,000	0.00		0.00	60,000	0.00
(中国大会)	230,000	0.00		0.00	175,000	0.00
7.大会開催寄付金	0	0.00	0	0.00	0	0.00
8.利子収入	3,269	0.00	0	0.00	0	0.00
9.雑誌販売(Back Number)	37,870	0.00	0	0.00	0	0.00
10.その他	0	0.00	0	0.00	0	0.00
収入合計	16,427,302	0	15,818,757	1,800.00	14,319,717	1,800.00
(繰越金を除く収入合計)	7,276,884		7,730,940		6,219,900	1,800.00
(ドル貨を含む)			7,853,940		6,342,900	

支出の部	2006年度決算		2007年度予算		2008年度予算	
	円貨	ドル貨	円貨	ドル貨	円貨	ドル貨
1.RURDS刊行費	4,282,752	0.00	4,800,000	0.00	3,224,000	0.00
(編集発行費)	1,600,000	0.00	1,800,000	0.00	0	0.00
(会員購読費)	2,682,752	0.00	3,000,000	0.00	3,224,000	0.00
2.年報刊行費	1,019,327	0.00	1,000,000	0.00	1,000,000	0.00
3.大会開催費	1,621,696	0.00	650,000	0.00	1,325,000	0.00
(年次大会)	939,000	0.00			650,000	0.00
(中国大会)	682,696	0.00			675,000	0.00
4. RSAIへの送金	296,682	0.00	270,940	0.00	284,900	0.00
5.坂下賞	121,200	0.00	121,000	0.00	121,000	0.00
6.名簿印刷費	0	0.00	50,000	0.00	50,000	0.00
7. ニュースレター等印刷費	95,130	0.00	100,000	0.00	100,000	0.00
8.一般事務費	302,698	0.00	200,000	0.00	280,000	0.00
(郵送費)	182,140	0.00	150,000	0.00	200,000	0.00
(消耗品等)	2,398	0.00	30,000	0.00	10,000	0.00
(謝金等)	97,460	0.00	0	0.00	50,000	0.00
(銀行手数料)	20,700	0.00	20,000	0.00	20,000	0.00
9.事務局費	600,000	0.00	600,000	0.00	600,000	0.00
10.予備費	0	0.00	50,000	0.00	50,000	0.00
支出合計	8,339,485	0.00	7,841,940	0.00	7,034,900	0.00
繰越金	8,087,817	0.00	7,976,817	1,800.00	7,284,817	1,800.00
ドル貨円換算(手数料を除く)	0		123,000		123,000	
繰越金合計	8,087,817		8,099,817		7,407,817	

注1;2001年度よりドル口座を廃止。海外会員の会費納入は、すべて円に換金して円口座に入金。

2007年度坂下賞選考委員会

委員長 佐々木公明 (東北大学)
委員 岡部 篤行 (東京大学 2006年度運営委員会選出)
委員 藤田 昌久 (甲南大学 2007年度運営委員会選出)
委員 小林 潔司 (京都大学 ARSC 会長)
委員 田淵 隆俊 (東京大学 ARSC 副会長)

2004年から2007年の間の選考委員の任期についての申し合わせ

2004年の運営委員会で3名(藤田昌久氏、佐々木公明氏、金本良嗣氏)の選考委員が選ばれた。第6条に定めた、委員任期3年、1年にひとりずつ新任および退任の規則に合致させること、に整合させるために、

2005年は、上記3名が継続、

2006年は、藤田昌久氏が退任して、2006年度運営委員会選出委員が新任、

2007年は、金本良嗣氏が退任して、2007年度運営委員会選出委員が新任、

2008年は、佐々木公明氏が退任して、2008年運営委員会選出委員が新任する。